

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	南あわじ市			代表者名	山家 光泰
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	南あわじ市立図書館	連絡先電話番号	0799-53-0234
担当者役職	主任	担当者氏名	河野 沙織	連絡先E-mail	
住所	656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲300番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	図書館再編
概要	図書館再編の磨き上げと市民ニーズの情報収集支援		
支援を求める分野	計画策定支援 デジタルアーカイブ/図書館		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月31日	講演&フォローアップ(実地)	12時50分	16時55分	
			活動時間(分)	245	
2-2. 派遣場所	会場名	南あわじ市立図書館	最寄駅	福良(高速バス)	
	所在地	兵庫県南あわじ市福良甲300	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員研修のファシリテーターを依頼したが、適切な助言と事例のアドバイス、会の流れの支援をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	15人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	14	1	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	市民とめざす図書館を本年度の目標に掲げている。 1回目の職員研修、2回目の市民WSを踏まえた上で、3回目は「市立図書館」の目的を職員及び会計年度が共有できる研修会を開く。職員が課題を出して実施するのは初めてなので、気兼ねなく会話できる環境・運営や進める方向が合っているかなどの不安が生じ支援者の必要性が課題となった。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	職員と会計年度が気兼ねなく会話できる環境と場作りへの支援、研修の流れと方向性について前進できるような助言と支援をいただき、「対話の場」と「目的の共有」を参加者が体験できる成果を目指す。更にアクションプランにつながれば大変よい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	職員研修のファシリテーター。それにかかる打合せ。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	最初の課題は「私たちは資料や情報を手段として『 』を提供します。」の『 』内を考えるものだった。職員と会計年度が混ざった3グループに分かれて対話し、人とのつながり、人や本などとの出会い、場、興味、といったキーワードを共有した。次に助言いただいた課題で「そのためには『 』が必要だ」の『 』内を対話し、安心安全(な職場)、Wi-Fi、(快適な)トイレ、電源、などが挙げられた。必要なものを実現に向けて考える中で事例や助言をいただきながら、各施設の状況に合わせながら試行してみようという段階まで進めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 添付写真のホワイトボード。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回が職員会計年度同士の対話の場としては第1回目となる内容だったので、翌月から毎月会を開き、進めていくこととなった。 また、第2回目の市民WSの報告会を年度末に向けて動く。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 メールでアンケートの回答を依頼中。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 市民の動きを継続的にサポート、掘り起こしていく。予算が伴う場合は翌年度にあげる。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員及び会計年度が主体的に市民にむきあい市民とめざす図書館づくりを実現する。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

